

迷惑掛けぬ

—諸悪莫作

—出世間の道理を知る—

(三版)

他人ひとに迷惑めいわく掛けるなと

掛かけねば全てすべ良よしとせば

道理どうりを知らず哀あわれなり

言葉ことばと体からだをつつしむも

道理どうりを学まなぶは最もつとも大だいじ事

放逸ほういつは死しの小径こみち

謹言きんげん、敬虔けいけん、慎重しんちゆう

精進しゆうじんは不ふ死しの道みち

己おのれの行こう為いは蓄積ちくせきされる

心こころの奥おくにも密ひそやかに

行こう為いと習しゆう慣う業かんごうとせば

人ひとに身しん口く意い三さん業ごう在あらん

己おのれの都合つごうで作さく為いせば

惑まどいに迷まよい善ぜん業ごう修しゆせず

心意こころ識あくくごうに悪あく業ごう満みたすのみ

染汚ぜんな

自じ分の迷めいわく惑く

条件じゆうけん、環かん境きゆう

記憶きおく、薰くん習じゆう

所作しよさ、言ことば葉は、心しん意い識しき

自じ我が、世せ間けん

心こころの行こう為い考かんえ方かたは

慎つつしみ持もちて皆みなのため

出しゆつ世せ間けんの道どう理り

宮城みやぎ県けん大だい崎さき市し

瑞ずい川せん寺じ住ぢゆう職しやく

木き村むら謙けん文ぶん